

空港民営化マネジメント 2016

先進海外事例の検証と 日本の空港経営の未来

開催日時 ▶ 2016年3月17日(木)

セミナー 13:50~17:20(受付開始 13:15~)
セミナー終了後、懇親会 17:30~

会場 ▶ イイノホール&カンファレンスセンター

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4F Room A

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 … C4出口直結
- 東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 … B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 … 9番出口 徒歩3分

- 東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 … 5番出口 徒歩10分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 … 徒歩10分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 … A7出口 徒歩3分

参加定員 ▶ 60名(事前登録制)／無料で招待

※ 申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

※ 本セミナーは参加対象者を限定させていただいております。

対象者以外の方、主催企業の競合となる企業様のご参加につきましては、お断りさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

参加対象 ▶ 経営者、役員、および経営企画部門をはじめ、空港事業に関わる全業種・部門の責任者の皆様

開催趣旨

世界の空港は民営化の流れにある。1980年代後半よりイギリス、オーストラリアより先行して民営化が始まり、その流れは欧州各国及びアジアへとシフトしてきている。

一方で日本の空港政策においても「整備」から「運営」へと重点がシフトし、従来の国、及び第三セクター中心の運営から、2011年のPFI法、2013年の民営空港運営法の成立を経て、今後は民間の資金・活力を導入する空港が増えることが予測されている。既に、関西国際空港・大阪国際空港、仙台空港においては民営化プロセスが進行しており、続いて、福岡空港、広島空港、高松空港、新千歳空港、静岡空港などが民営化される方向で検討が進められている。

これまでの日本の空港経営は、定時運航率、手荷物紛失率、チェックイン締切時間など「交通機関」としての機能においては世界でも類を見ないほど高い成果を上げている一方で、空港システム全体の最適化、事業収益性という観点からは、グローバル標準に及ばない点が多く散見される。

本セミナーは係る状況を踏まえて、民営化で先行している欧州空港の事例研究をもとに、現在グローバル標準となっている空港経営モデルの要諦を考察し、日本の空港経営との差異を明らかにしたうえで、今後の日本の空港経営に対する戦略的示唆を提供することを目的に開催される。

主催：アーサー・D・リトル・ジャパン株式会社 協力(企画・運営)：株式会社ビジネス・フォーラム事務局



プログラム詳細・ご登録はこちらから

<http://www.b-forum.net/airport2016/>

お問い合わせ先・発送元：株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F TEL: 03-3518-6531 (受付時間 9:30~18:00 ※土・日・祝日を除きます)

13:50

オープニング

森 洋之進 (Yonoshin Mori) アーサー・D・リトル・ジャパン パートナー、戦略・組織チーム代表

14:00

グローバル航空業界トレンドを踏まえた航空業界の新たなビジネスモデル

- 航空業界における“超”競争時代の幕開け
- “超”競争時代における、航空会社・空港事業者のビジネスモデル
- デジタル技術(IoT)を活用した空港における新たな価値創造

ブロンデル マシュー (Mathieu Blondel) 

プロフィール アーサー・D・リトル・フランス パートナー、航空産業プラクティス・グローバルリーダー

HECパリ経営大学院卒業後にアーサー・D・リトル・フランスに入社。空港・航空会社・グランドハンドリング・投資家など航空業界の幅広い顧客に対して、全社中長期戦略の策定・オペレーション改革・CAPEX計画の策定・ビジネスデューデリジェンスなど、幅広い経営テーマを支援。現在はアーサー・D・リトルにおける航空産業プラクティスのグローバルリーダーとして、欧州・中東・アジアを中心に世界各国でコンサルティング活動に従事している。



14:45

グローバルメガ空港グループによる
海外空港事業戦略・空港民営化のケーススタディ

- パリ空港公団グループの海外事業戦略
- 空港事業・ビジネスモデルの進化 -パリ空港公団のケーススタディ
- 空港民営化案件成功に向けた押えどころ

※ゲスト講演者調整中 パリ空港公団よりエグゼクティブが講演予定 

プロフィール パリ空港公団は、フランスの首都パリの3空港の運営を中心に70年以上に渡って空港運営に携わっており、近年は海外事業展開を加速した結果、現在は全世界で37空港の運営に直接的・間接的に関与している世界最大級の空港グループである。現在の連結売上高(2014年)は2.8 bn EUR(≒3000億円)で、グループ合計で2.29億人の旅客数(2014年)を取り扱っている。また、空港運営だけでなく、グループ企業には空港設計のADPI、空港建設のTAV Construction、海外投資事業のADPM、小売流通事業のSDA/ATU/BTAなどを抱えており、空港ビジネスのバリューチェーン全体をカバーできる体制を整えている。

15:45-16:05

コーヒー・ブレイク

16:05

顧客経験価値マネジメントによる非航空系事業の収益最大化

- 空港における交通機関と商業施設のバランス最適化
- 非航空系事業の押さえどころ(Key Success Factor)
- 顧客経験価値のマネジメントによる旅客利便・満足度の向上

ベッタティ オーレリア (Aurelia Bettati) 

プロフィール アーサー・D・リトル・フランス パートナー、戦略&組織プラクティス、運輸・交通プラクティス所属

ESSECビジネススクール卒業後にアーサー・D・リトル・フランスに入社。航空・鉄道・メディア・スポーツ・消費財・小売業界・投資ファンドなど様々な業界において、全社成長戦略・マーケティング戦略・CRM戦略・ビジネスデューデリジェンスなどを支援。空港業界では非航空系事業を中心に売上拡大・収益性改善に向けた施設配置・商品構成・マーケティング・価格戦略・ビジネスモデル改革などについて、欧州・中東・アジアを中心に世界各国でコンサルティング活動に従事している。



16:50

海外空港ベストプラクティス事例から日本の空港経営への示唆

- 今日の日本における空港経営
- 空港経営における日本と欧州の差異
- 日本の空港経営への示唆

藤田 朗丈 (Akitake Fujita)

プロフィール アーサー・D・リトル・シンガポール マネジャー、交通・運輸プラクティス所属、航空産業チームのアジア地区リーダー

東京大学大学院理学系研究科を卒業後、ベンチャー企業勤務を経てアーサー・D・リトル・ジャパンに入社し、2014年よりシンガポールオフィスに所属。運輸・交通・自動車・産業機械・住設建材など幅広い業界に対して、全社成長戦略、オペレーション改革、技術戦略、海外市場参入戦略などのテーマに従事。日本の空港業界においては、投資ファンド/空港事業者向け長期経営計画の策定、航空系事業戦略の策定、オペレーション改革支援などに従事している。



17:20 終了

※プログラム終了後、会場内で懇親会 ご参加者同士の情報交換の場として、お気軽にご参加ご利用ください。